

V 報告 「王子公園再整備基本方針（案）」について

「王子公園再整備基本方針（案）」について

1 「王子公園再整備基本方針（修正素案）」にかかる市民意見募集結果

(1) 意見募集の期間

令和4年9月27日（火）～10月26日（水）

(2) 意見通数・件数

①市民意見募集による市民の意見 914通 (2,196件)

②市民意見募集による市民以外の意見 272通 (854件)

③わたしから神戸市への提案 4通 (20件)

合計 1,190通 (3,070件)

(その他)

④市民との意見交換会（学生）（修正素案公表後実施分）301件

(3) 主な意見と市の考え方

【主な意見】（要旨・抜粋）

- ① 大学誘致に関して賛成。交通至便なこの地は、神戸市全体の利益の視点から活用すべき。質の高い大学を誘致してほしい。少子高齢化が進んでも、今後、より都市部集中が起こる。経済効果だけでなく、エリア価値向上が重要。学生を増やすことが、流出に歯止めをかける。
大学誘致に反対。少子化時代となり、多くの大学が定員割れとなることが明らかとなっている。大学ゾーンは約3.5haと狭く、大学を誘致する面積ではない。ポートアイランドや六甲アイランド等、十分な敷地の取れる場所に誘致すればよい。王子公園にあるスポーツ施設を廃止や移転させての大学誘致はおかしい。
大学誘致の理念はわかるが、具体性に欠ける。どんな特色ある大学を誘致するのか具体的イメージを示してもらいたい。医療産業都市関連の研究所や医療機関、企業等との連携が可能な学部などの選定をお願いしたい。募集時によく考えてほしい。
- ② 動物福祉として獣舎を拡張するなど、野生に近づけた環境にしてほしい。動物園や公園の中で、小さい子供たち・子育て世代の憩いの場を拡大してほしい。
- ③ メインスタジアムなどは、いまの位置に残し、老朽化など施設劣化の整備を行うべき。王子プールは残して欲しい。修繕工事でまた使えるようにしてほしい。
- ④ 駐車場の整備台数は十分か。周辺道路へ影響がないようにしてほしい。地下化してはどうか。
- ⑤ 魅力的な遊具などのある、大きな公園を希望。緑の広場をもう少し広く取るべきでは。六甲摩耶の緑と山並みに調和する景観には十分配慮をお願いしたい。
「シンボルプロムナード」という言葉は理解が難しい。わかりやすい日本語で表記すべき。桜などの木々を守り、残していくべき。
公園利用者が安全に散歩やジョギング等できる公園を作って欲しい。

【市の考え方】

- ・王子公園の再整備にあたり、将来世代が王子公園に求めるニーズに応じていくためには、今ある施設をそのまま更新するのではなく、その高いポテンシャルを活かし、王子公園エリアの新たな価値を創出することが不可欠であり、大学誘致は最も有力な施策と考えています。
- ・少子化が進む中でも「都心回帰」が進む大学や学生のニーズを取り込み、質の高い競争力のある大学を誘致します。
- ・大学の公募にあたっては、「大学運営（教育・研究内容等）」「地域貢献」「地域経済」「都市計画・景観等」「安定性・継続性（財務・会計）」の5つの視点を重視します。
- ・今後、基本方針に基づき、動物園、スタジアムなどのスポーツ施設、緑の広場など、各施設の具体的な整備内容やデザイン、事業全体のスケジュール等を定める基本計画を策定する予定です。基本計画策定にあたっては、これまでみなさまからいただいたご意見を含め、改めてご意見を伺いながら検討を深めていきます。

【主な意見と市の考え方】 資料1のとおり

2 王子公園再整備基本方針（案）

【意見等を反映させた箇所】 資料2のとおり

【王子公園再整備基本方針(案)】 資料3のとおり

3 今後の予定

- ・令和4年12月 「王子公園再整備基本方針」公表
大学公募開始
- ・令和5年度以降 「王子公園再整備基本計画」策定、都市計画手続き

主な意見及び市の考え方

(1) 基本方針全般、再整備の意義、大学 ① 1,531件 ② 522件 ③ 14件

意見 番号	意 見	市の考え方
1	<p>第2回素案は、第1回からの改善も多く見られます。修正や調整は必要だと考えますが、既に1年以上の遅れが生じることを残念に思います。民間とのワークショップや「ここをどうしたい」「どう使いたい」などの現地でのウォーキングを通じた意見交換など、「人目線」での実体験・体感を持ってもらいながら「創っていく」公園のプロセスを踏んでほしいです。</p> <p>「動物園ゾーン」は水族館（須磨海浜水族園）とともに神戸市民なら子供の時に必ず家族で訪れたことのある思い出深い施設です。園内の遊園地も最近はいくつかの設備のある施設が少ないので貴重です。ぜひ皆さんで良いアイデアを出して長く市民に親しまれるよう再整備をお願いします。</p> <p>市民参画で再計画を求めます。</p> <p>再整備計画全体のスケジュールに疑問を持っています。何故 各施設の必要性(方向性)検討ではなく、いきなり大学ありき・立体駐車場ありきのゾーニングなのでしょう。これでは地域住民の反発を招くだけで、良い計画になるとは思えません。今一度 スタート地点に立ち戻り、市民の意見に耳を傾けることを強く望みます。</p> <p>王子公園内の老朽化施設の改修は必要ですが、利用する市民目線に立ったものである事を要望します。そもそも、この素案がどれ程地域住民へ周知されているのか疑問です。市長選に於いても、王子公園再整備案が争点にされなかったことで市民への周知も遅れました。大学誘致に囚われ、この素案を市民の合意なく続行すれば、王子公園一帯の景観は奪われ、子育て世代の更なる人口流出は免れないでしょう。想定外だったと言う言い訳は、通用しません。市民や子供たちの未来にツケを遺すことがないよう、まずは「市長自身」が地域住民と顔を合わせた「対話」が必用であり、時間をかけ丁寧に「意見交換」する必要があります。市民の声から逃げながら、素案を通したいと言うのは身勝手だと一市民としては思います。大学誘致にデメリットはないと言う市長の一方的な価値観を、市民へ押し付けることのないことを要望します。</p>	<p>王子公園再整備にあたっては、基本方針（素案）について、令和3年12月10日～令和4年1月17日にかけて市民意見募集を実施した結果、様々な観点から多くのご意見をいただき、動物や景観などへの影響を懸念する声、王子公園への愛着などから既存施設の存続を望む声が寄せられました。</p> <p>このような市民の声を重視し、令和4年6月に、基本方針（素案）の見直しに向けた「市の考え方」及び「王子公園内の施設の方向性」を公表した上で市民との意見交換会を11回開催し、市民から直接ご意見やご提案をいただく場を設けながら、基本方針（素案）の見直しを進めてきました。</p> <p>また、出来るだけ多くの方にわかりやすく情報をお届けし、ご意見やご提案をいただくため、専用のホームページを設け、これまでいただいたご意見等やFAQ（よくある質問と回答）等を掲載し、意見送信フォームを設けたほか、子育て世代や子どもへのアンケート調査を実施しました。さらに、王子公園ミニニュースを発行し、広報紙KOBEに挟み込む形で全戸配布するなど、再整備の検討内容、検討状況について、様々な手法や媒体を通じて、幅広く市民に周知・共有することに努めました。</p> <p>基本方針（案）では、これまでに市民からいただいたご意見やご提案等を踏まえ、「(1) 5つの基本目標」として、①新たな「原田の森」の創造、②学術・文化拠点のシンボルの創出、③王子動物園の魅力向上、④公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上、⑤広域防災拠点の機能強化を掲げた上で、誰もが憩いやすくなる一般に開放された空間を拡大することやゾーン間の物理的つながり、視覚的な拡がり確保することを重視し、公園全体の一体感の醸成と回遊性の向上を図ることとしています。</p> <p>また、各施設の利用状況や全市的な配置状況などを踏まえ、園内外で再整備、代替・機能確保を図ることとし、再整備による各施設の方向性を示しました。機能の集約化や運用の工夫により、出来る限り従前施設の機能を確保します。</p> <p>なお、基本方針は、再整備の基本目標やゾーニング等を定めるものです。今後、基本方針に基づき、各施設の具体的な整備内容やデザイン、事業全体のスケジュール等を定める基本計画を策定する予定です。基本計画策定にあたっては、これまでみなさまからいただいたご意見を含め、改めてご意見を伺いながら検討を深めていきます。</p>

2	<p>① 大学誘致に賛成します 少子高齢化を軸に反対派がありますが、今後より都市部集中が起こると考え、大学誘致に賛成いたします。</p> <p>② キャンパスは「原田の森キャンパス」がいい 従来より寺社仏閣に加え、キリスト教も混ざる神聖な場所です。森のような公園に人も集まる、生き物が住みつく。そんな、神聖な場所になればと考えます。</p> <p>③ 大学側のゾーニング撤廃について 完全な柵の撤廃、人の自由な往来に賛成します。ただ、「シンボルプロムナード」と名付けると、格好はいいのですが全く頭に入ってきません。これは市民にとって理解するのが難しい言葉だと思います。わかりやすい日本語での表記をお願いいたします。</p> <p>④ ヒューマンスケールで考えて欲しい エントランス部は、現在駐車場です。その面積が公園になるだけでも、人目線だと「広大な敷地」です。「大学誘致で公園面積が減る」と言う反論は全くの矛盾だと考えます。大学とのゾーニング撤廃も考慮すると、実はひとの可動面積（公園面積）がかなり増える。と言う点をもっと伝えて欲しいです。</p>	<p>王子公園は阪神間を代表するエリアにあり、若年定住・交流人口の増加や都市ブランドの向上を図り、持続可能な神戸の発展を実現するためには、その高いポテンシャルを活かすことが不可欠です。</p> <p>王子公園には供用後70年が経過した施設があるなど、全体的に老朽化しており、大規模更新が必要な時期を迎えています。再整備にあたり、将来世代が王子公園に求めるニーズに応えていくためには、今ある施設をそのまま更新するのではなく、文教都市・神戸としての地位を高め、王子公園エリアの新たな価値を創出することが不可欠であり、大学誘致は最も有力な施策と考えています。</p> <p>少子化が進む中でも「都心回帰」が進む大学や学生のニーズを取り込み、質の高い競争力のある大学を誘致することにより、イノベーション機能の強化、産学連携による地元企業の成長など、新たな雇用の創出や、地域コミュニティの担い手不足の解消などが期待できます。</p>
	<p>大学誘致には賛成です。 経済効果も重要ですが、住民にとっては大学と地域との交流や連携によるエリア価値向上が何より重要です。 神戸で働く場はもちろん、神戸のまちを愛して住んでくれる学生を増やすことが、流出に歯止めをかけると思います。</p>	<p>基本方針（案）では、これまでに市民からいただいたご意見やご提案等を踏まえ、「(1) 5つの基本目標」として、①新たな「原田の森」の創造、②学術・文化拠点のシンボルの創出、③王子動物園の魅力向上、④公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上、⑤広域防災拠点の機能強化を掲げた上で、誰もが憩いやすくなる一般に開放された空間を拡大することやゾーン間の物理的つながり、視覚的な拡がり確保することを重視し、公園全体の一体感の醸成と回遊性の向上を図ることとしています。</p>
	<p>王子公園や「原田の森」境界は、多くの教育機関が立地する文教の地としての歴史と伝統があります（動物園ができる前から！）。交通至便なこの地は、神戸市全体（そして更に広域の都市圏）の利益の視点から活用方法を考えるべき場所だと思います。のどかな動物園だけの王子公園と、それに加えて多くの学生や研究者が行き交う大学もある王子公園とどちらが活気ある神戸となるか？答えは自明であるように思います（都市が活性化されないと動物園とて維持できなくなるかもしれない）。国内のみならず、国際的にも注目されるような質の高い高等教育機関を誘致し、「国際都市神戸」の復活が実現されることを願っています。</p>	<p>また、各施設の利用状況や全市的な配置状況などを踏まえ、園内外で再整備、代替・機能確保を図ることとし、再整備による各施設の方向性を示しました。機能の集約化や運用の工夫により、出来る限り従前施設の機能を確保します。</p>
	<p>大学誘致反対、計画は撤回すること。 少子化時代となり、多くの大学が定員割れとなることが明らかとなっている昨今、神戸市の修正素案の大学ゾーンは約3.5haと狭く、大学を誘致する面積ではない。大学を誘致したければ、ポートアイランドや六甲アイランド等、十分な敷地の取れる場所に誘致すればよい。王子公園には大学は必要ない。都市公園法を守り、大学誘致計画は撤回すること。</p>	<p>再整備にあたっては、古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表する美しい景観を大切に守りながら、王子動物園をはじめとする公園内の施設を適切に維持・更新し、将来の世代へ確実に継承します。あわせて、新たな交流機会の創出など地域の賑わいづくり、地域商業などの活性化・経済効果などにより、周辺住民の生活の質の向上を図り、王子公園再整備が「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」の両立を果たしつつ、「グローバル貢献都市の実現」を牽引していきたいと考えています。</p>
	<p>大学誘致に反対します。王子公園には多くのスポーツ施設があり、それぞれしっかり利用されています。それを廃止や移転させての大学誘致はおかしい。多くの市民と市民以外も利用していて、外部からの定住を目的とするなら、大学は部外者のための施設である為、市民の利益になるかは曖昧なのに反対を押し切ってやるべきでない。 少子化で神戸市内の女子大学も共学になると今年ニュースにありました。大学誘致はこの先持続可能な明るい将来は見込めないのは誰の目からでも明らかです。</p>	<p>なお、基本方針は、再整備の基本目標やゾーニング等を定めるものです。今後、基本方針に基づき、動物園、スタジアムなどのスポーツ施設、「(仮称)緑の広場」など、各施設の具体的な整備内容やデザイン、事業全体のスケジュール等を定める基本計画を策定する予定です。基本計画策定にあたっては、これまでみなさまからいただいたご意見を含め、改めてご意見を伺いながら検討を深めていきます。あわせて、大学公募の手続きを進め、基本計画を策定した後に、法令等に基づき、都市計画の変更を行う予定です。</p>
	<p>大学誘致は反対。メリットがわからない。人口減少で大学が統合されている。学生は昼間の人口で、大学付近では消費力が弱く、地域の活性化にはならないと思う。 周辺の施設も市民のために必要なもので、整備をして残してほしい。どうして大学が必要なんですか？その考えの発端はどこからきているのでしょうか？</p>	

3	<p>大学誘致は問題ないと考えます。ただ、神戸は卒業後の就職先が少ないことが弱点です。スタートアップ支援もその一環でしょう。</p> <p>ですから、卒業後も若者が神戸に定着する可能性が高まる仕掛け、仕組み作りを、誘致する大学のプログラムに入れるなどしてください。</p> <p>たとえば市内企業へのインターンとか、まちの課題解決プロジェクト（アーバンイノベーションみたいな）を大学のカリキュラムに入れて、神戸に親しみを感じてもらうとか。</p> <p>ただ誘致して終わりではなく、神戸のブランド向上、若者定着に取り組んでくれることをキャンパス進出の条件にしてもいいかもかもしれませんね。</p>	<p>基本方針は、再整備の基本目標やゾーニング等を定めるものです。今後、基本方針に基づき、動物園、スタジアムなどのスポーツ施設、「(仮称) 緑の広場」など、各施設の具体的な整備内容やデザイン、事業全体のスケジュール等を定める基本計画を策定する予定です。基本計画策定にあたっては、これまでみなさまからいただいたご意見を含め、改めてご意見を伺いながら検討を深めていきます。</p> <p>あわせて、大学公募の手続きを進める予定です。大学公募にあたっては、以下の5つの視点を重視し、神戸そして王子公園の地にふさわしい国際性や多様性を高める特色のある競争力の高い大学の誘致を目指します。</p>
	<p>大学の誘致には賛成です。</p> <p>できれば、人生 120 年時代を迎えて、若者だけでなく中高年齢者が再度学べる大学や大学院など、例えば首都圏に多い大学のエクステンションセンターを開催することなどの生涯学習の機会創設を大学選定の条件に追加して頂ければありがたいと考えております。</p> <p>また、学習機会の拡大に加えて、生涯スポーツ（例えば囲碁ボール等）の機会提供等も条件に追加ご検討頂ければありがたいと思います。</p>	<p>(1) 大学運営（教育・研究内容等）</p> <p>これからの時代に適合した持続可能な大学経営方針が示されているか、グローバル人材の育成に資する教育や研究等の方針が示されているか</p> <p>(2) 地域貢献</p> <p>学生による社会貢献やリカレント教育など学びなおしの機会の提供</p> <p>(3) 地域経済</p> <p>産学連携によるイノベーション機能の強化やリスク教育の促進、新たな雇用の創出や市民所得の向上</p> <p>(4) 都市計画・景観等</p> <p>六甲山の山並みと調和した緑豊かな景観の形成や開放的なキャンパス整備など、公園との一体性や防災機能</p> <p>(5) 安定性・継続性（財務・会計）</p> <p>資金計画の適切性や事業の安定性・継続性</p>
	<p>大学は理念はわかるが具体性に欠ける。ポートアイランドエリアの各種機関（理研や医療機関、外資企業）との連携・インキュベーションが可能な学部など、相乗効果のある学部選定をお願いしたい。人気の情報系学部というのも考えられるが、受け皿となる産業が地元が無いと卒業後に学生は出ていってしまうので、募集時によく考えてほしい。</p> <p>神戸の都市ブランドを高める誘致大学とはどのようなものなのか。具体性に欠ける。今でも市内に多くの特色を持つ大学があるのに、さらに大学が必要なのか。どんな特色ある大学を誘致するのか具体的イメージを示してもらいたい。敷地面積、学生数、施設設備、教育研究体制など国際化ユニバーシティを誘致するのに必要十分な場所ではない。空港を活用ともいわれているが、どうしても必要というならばなぜポートアイランドの広大な土地を活用しないのか。貴重な市民の歴史と伝統に育まれた共有財産を売り渡し、貧弱な大学誘致をすすめることに反対です。</p>	
	<p>そもそも王子公園への大学誘致の必要性を感じないので、大学誘致は不要である。公園を狭苦しくするぐらいなら動物園を充実させた方がよい。なぜ大学誘致の必要性を感じないかという点、神戸市で検討しているはずの具体的な学部名や大学名が公表されていないからである。イメージがわからない。本当に大学を誘致したいなら賛成世論喚起のためにも公表してほしい。（聞いた噂では関西学院大学の名前が挙がっている。これもどこまで本当かわからない。もし関学発祥の地に再び関学を誘致する構想なら、そう明言すればよい。賛成する人も現れるであろう。）</p> <p>大学を誘致する手続きもわからない。神戸市内から移転するのか？誘致する大学を公募するのか？大学同士でコンペを開催するのか？神戸市が自ら大学を設立するのか？諮問委員会を開いて討議するのか？市長の権限で誘致を決定するのか？神戸市教育委員会は関与するのか？明らかにしてほしい。</p> <p>もし神戸市内や兵庫県内から既存の大学の移転となると、移転元の地域経済に悪影響があるので、そんなことをするぐらいならやめてほしい。（神戸市西区の神戸学院大学の神戸市中央区ポートアイランド移転では、西区内の学生向けアパート・マンションの賃料が下落して不動産市況に悪影響が出ている。これも神戸市の市政運営の影響である。）</p> <p>西宮市の関西学院大学では、阪急甲東園駅前のファーストフード店（マクドナルド）は「関西学院大学の学生お断り」の貼り紙がでたことがある。学生のマナーが悪いからである。大学誘致は必ずしも地域活性化にはつながらず、逆に地域のブランドイメージを損ね、経済の足を引っ張る可能性もある。</p>	

<p>4</p>	<p>大学を誘致することに伴い、神戸の将来を牽引する優秀人材の育成、大学による地域貢献、リカレント教育機会の提供など、多くの効果を期待しておられます。しかし、大学施設を設置することで、本当にこれらの効果が上がるのかは、すこし疑問に思いません。</p> <p>例えば、優秀人材を育成し神戸で活躍してもらうためには、市内企業への就職をサポートする神戸市の既存事業に注力したほうが、費用対効果は高いのではないのでしょうか。大学を誘致したとしても、神戸にある企業の魅力が学生に伝わらなかったり、あるいは、市内企業と学生をつなぐ場が充実していなければ、学生は神戸で就職しようと考えません。そのため、地域の魅力発信・地元企業とのかけ橋づくりをしている既存事業を拡充する方が、コストパフォーマンスは高いと思います。</p> <p>また、大学の各種地域貢献やリカレント教育も期待する効果として挙げられていますが、それらは各大学が従前から実施していることです。大学の数を増やすことよりも、既存の大学が行っている事業を支援することによって、これらの効果はシンプルに達成できるのではないのでしょうか。</p> <p>一見して、大学誘致は、文教都市・神戸としての地位を高めるための最も有力な施策のように見えます。また、「人への投資をした」と説明しやすい取り組みでもあります。しかし、施設を設けたというポーズだけで終わらないか、不安に思います。大学誘致は、住民の理解を得たり、財源を準備したりと、非常にコストのかかる事業だと想像します。大学誘致をせずとも、既存事業の充実や既存大学への支援によって目標を達成できるのならば、費用対効果の高い後者の施策を取るべきだと考えます。</p> <p>なお、私は神戸の大学に勤務する中、王子公園再整備の話を目にし、神戸市は文教都市・神戸としての地位を高めるための施策を重視していると知りました。そのような目標があるのならば、神戸市から、既存大学及び学生への積極的な支援があってもよいのではないかと思います。各大学には、「優秀な人材を育成して地域に貢献する」という共通した使命があります。その使命を十分に果たすために、神戸市から、既存大学及び学生への支援や神戸の魅力発信のアプローチが、もう少し拡充されてもよいのではないかと感じます。</p>	<p>持続可能な神戸の発展の実現のためには、本市の抱える様々な課題の解決に向け、ともに取り組むパートナーとして、市内大学の役割は大きく、既存大学との連携強化は非常に重要であると認識しています。</p> <p>その為、神戸市の地域課題や行政課題の解決等を目的に若手研究者の研究活動を支援する「大学発アーバンイノベーション神戸」や、地域活動に取り組む学生や団体等を支援する「KOBE 学生地域貢献スクラム」など、様々な視点から連携を進めています。</p> <p>一方で、近畿圏の直近 10 年間の学生数の推移を見ると、大阪市や京都市の学生数が増加する中、神戸市の学生数は減少傾向にあるため、学生数の増加に資する施策も重要です。</p> <p>この点において大学誘致は非常に有力な施策であり、大学の公募にあたっては、大学側に地域課題の解決や賑わいづくりに資する役割を求めていく予定で、新たに誘致する大学も含めた市内大学との連携強化にも引き続き取り組んでいきます。</p>
	<p>学術文化の拠点というなら、阪神間には大学はたくさんあり、灘区には、神戸大学があります。神戸大学ともっと協力したらどうでしょう。</p>	

(2) 動物園 ① 267件 ② 200件 ③ 6件

意見 番号	意見	市の考え方
1	<p>絶滅危惧種の動物たちも、たくさん暮しています。僕は何より新しい、ライオン、ペリカン、パンダ、サイ、シンリンオオカミ、ウマグマを連れてきてほしいです。大学に使うお金は、動物たちを来園させるために使った方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>たくさんの人が訪れる素敵な動物園にしてほしい。</p> <p>近隣の神戸どうぶつ王国が大変良い施設となっており、動物の行動が観察できる施設なので、引けをとらないような施設として検討いただければと思います。あと、パンダにはこだわりすぎず、昔はいたサイやゴリラなどの展示も復活していただけると幸いです。</p> <p>動物増やして。 子ども達に絶対必要です。 歴史のあるすばらしい施設は将来に引き継ぐべきです。</p>	<p>飼育する動物種については、今後の動物園のあり方を考える上では、動物の入手が困難になる点も考慮し、種保存に貢献しながら動物園として持続可能となるよう、飼育種や頭数をコントロールしていくための動物収集計画（コレクションプラン）を有識者や飼育員の意見等を参考に検討していきたいと考えています。王子動物園ならではのと言えるような、例えば身近な六甲山系の希少動物の保全を目指した動物種などの視点も含めて検討していきます。</p>
2	<p>動物福祉を意識した獣舎にリニューアル期待します。魅せるよりも飼育環境改善を念頭をお願いします。</p> <p>動物園の動物たちが健康並びにストレスを感じないように放飼場並びに寢室の拡張や王子動物園内にある動物病院を始めとする建物の改修やリニューアル工事をし、野生に近づけた環境にするように対応を宜しくお願い致します。</p> <p>(例) 野生に暮らしているアジアゾウの群れたちは泥の池で水浴びをするのが大好きな仔たちばかりですのでゾウたちが遊べるプール並びに放飼場の拡張を強く要請致します。</p> <p>動物達にストレスを与えるような公園整備には反対です。 せっかく日本全国でも有名な訪れる人が多い動物園があるのだから、それを活かす整備をお願いします。</p>	<p>現在、公益社団法人日本動物園水族館協会が動物福祉を考慮し、動物の特性に応じた最適な飼育環境の充実を求めた「飼育ガイドライン」を順次策定しており、リニューアルにあたっては当該ガイドラインに沿うよう、動物福祉に配慮した快適な飼育環境の整備や健康管理に努めていく必要があると考えています。また、できるだけ野生動物の生息環境を再現するなど、生物多様性保全の重要性や動物本来の魅力が伝わり、見て楽しみながら教育等の学びにつなげられるような展示方法についても、有識者や他の動物園の事例も参考にしながら検討していきます。</p>
3	<p>王子動物園内の飲食・休憩できる場所を増やしてほしい。</p> <p>子ども連れで動物園に行くと、休憩できる場所が少なく、特に、急に雨が降ってきても雨をしのぐ場所がトイレくらいしかない場所もあります。</p> <p>遊園地内と、動物のエリア別に休憩所、フードコートのような軽食店が欲しいです。</p> <p>恒久的に設定するのが難しければ、キッチンカーのように、場所(施設)のみ提供し、市内の製菓店やパン屋さんなどに期間限定で出店してもらおうと、動物園内での付加価値が増え、また、それがきっかけで、神戸産の土産物屋も相乗効果を期待できるのではないのでしょうか。</p> <p>市役所にホテルを作るのなら、動物園内にケーキ屋さんがあってもよいと思います。</p> <p>子どもたちの見学にも重点をおいていただき、昼食が食べられる木陰や少し遊べる場所、見学したこと触れ合ったことを現地でまとめられる場所がほしいので、会館的なもの、資料展示場所なども、整備していただきたい。トイレなども今以上に快適にしていきたいです。</p>	<p>王子動物園のリニューアルについて、園内のバリアフリー化、トイレなど設備の改修、飲食施設や憩いの場をはじめ必要な施設設備等についても、今後、基本計画策定の中で検討していきます。</p>

4	<p>王子公園は小さい子供から中学生まで子供が楽しめる場所であり、子供にとってもたくさんの思い出がある場所です。もちろん、子供だけでなく大人にとってもですが手軽に子供を連れて行け、小さい子供が遊べる遊園地は少なく王子公園内の遊園地は欠かせない場所になっています。</p>	<p>動物園には種の保存や教育などの機能が求められている一方で、現在の遊園地のような子供たちの遊べる施設は必要と考えているため、レクリエーションを含めた機能を動物園全体で充実させる予定です。</p> <p>レクリエーションの充実は遊園地エリアも含めて検討していきますが、遊園地は既存の遊具の多くが設置後 40 年を超えるなど、老朽化が進んでいます。そのため、一定の見直しは必要と考えていますが、現在の遊園地施設への市民の愛着にも配慮しながら、動物園にふさわしいレクリエーション施設のあり方を検討していきます。</p>
	<p>王子公園は、動物園はとくに、小さい子供たちや、子育て世代の憩いの場を拡大することが良いです。遊園地ゾーンも、是非新しく作り替えてあげて欲しいです。小さい子が乗れるような遊具がある遊園地は貴重なんです。</p>	
5	<p>今と同じように就学前の子供がいる世帯が気軽に利用できるような今と同じ価格帯の料金設定にしてください。</p> <p>神戸市灘区は子育て世代が増えている地区です。商店街があり、緑が多く、動物園、遊園地、プール、スポーツ施設、文化施設が身近にあることが魅力です。</p> <p>王子動物園の収益改善のために入園料の値上げは、大人 1000 円までであれば許容されると思います。</p> <p>また、神戸市外から来る人に対して割増をすることも一案です。</p>	<p>動物園の運営においては、教育・種の保存・調査研究のような公益的な事業はより高度かつ専門的に、収益的な事業、レクリエーションはより柔軟かつ効率的な運営が求められており、その中でも公益的な事業により重きを置いた役割を求められることから、王子動物園については今後も民営化することなく神戸市が公の施設として責任を持って運営していきます。</p> <p>また、公益的な事業として王子動物園を運営していくため、料金についても、他の自治体で運営されている動物園と同等に、利用しやすい妥当な料金で運営したいと考えています。なお、再整備に伴う値上げは考えていません。</p> <p>現在、王子動物園では動物サポーター制度という動物園を支援していただける個人・企業を募り、ご寄付をいただく取り組みを行っています。いただいた寄付金は動物のエサ代や獣舎の整備などに充てています。また、新たな支援策として、施設・設備の維持管理、動物福祉の向上のための改修費用の支援を募るクラウドファンディングを現在行っており、王子動物園のリニューアルの際にも活用して動物の環境改善に取り組んでいけるよう検討します。今後は、ホームページや SNS 等を更に積極的に活用することで、広報の充実を図り、動物の魅力をより多く発信していくことで、入園者の増加に努めていきます。</p>
	<p>王子動物園については、施設等老朽化しているので、改修は、していただきたいですが、あくまで民営化しないで、これまで通り市民が子連れで、気軽に行けるように低料金を保ってほしい。</p>	
6	<p>王子動物園は長年にわたり、市民に親しまれてきた施設です。</p> <p>格安で家族みんなで楽しめる施設です。</p> <p>現在のまま残して中身を拡充して楽しめる施設を大切にしてください。</p>	<p>王子動物園は 1951 年の開園以来 71 年が経過し、獣舎等の老朽化が進んでいるため、近年求められている動物福祉の観点を踏まえた施設の更新や展示方法の導入、来園者の利便性の向上などを目的に、リニューアルを行っていく予定です。</p> <p>この度、基本方針（案）を踏まえ、王子動物園リニューアル基本構想（案）を公表しました。この基本構想（案）は、リニューアルの基本となる理念や長期的な方向性を総括的に示すもので、有識者や飼育員、獣医師等の職員の意見を参考に作成しています。</p> <p>今後、基本構想（案）を実現するための具体的な施設の更新計画や整備スケジュール等を示す基本計画案について、市民やサポーターの皆さまの意見も聞きながら作成していきたいと考えています。</p>
	<p>王子動物園の魅力向上</p> <p>現在のままでも魅力はあるので、向上させる必要性を感じない。</p> <p>ただし、老朽化した獣舎の改修は行うべきである。</p> <p>「動物園のふさわしいレクリエーション機能」とは何かかわからない。</p>	
	<p>王子動物園（遊園地含む）の改修案の作成には現場職員、外部の専門家などと目指すべき方向性を熟議して決定してください。</p>	

(3) スポーツ施設 ① 310件 ② 106件 ③ 0件

意見 番号	意見	市の考え方
1	<p>メインスタジアムなどは、いまの位置に残し、老朽化などによる施設劣化の整備を行うべき。</p> <p>大学誘致は白紙撤回し、競技場は、アメフト・サッカー・ラグビー・ラグロス・フィールドホッケー等、色々な競技を可能にして観客席を、まじかで観戦が出来るように改修して、大きな大会でも開催できるような規模に整え使用頻度を高めること。</p> <p>新スタジアムの移転により騒音、照明などによる周辺住環境への悪影響が懸念されます。このことについて、どのような検討を行い、どのような対策を講じるのか説明が必要です。</p>	<p>競技場は、供用開始から65年以上経過し老朽化が著しいため、公園内に新設して今後も幅広い競技や用途で市民利用できるスポーツ施設として活用していきたいと考えています。</p> <p>フィールドについては、アメリカンフットボールに限らず、サッカーやグラウンドゴルフ、ラグロス、運動会や地域のイベントなど、引き続き幅広い競技・用途で利用いただけるよう運用を検討します。</p> <p>現在陸上トラック等で部活動などの練習利用があることを踏まえ、新スタジアムには、練習用の400mトラック（4レーン）を整備します。</p> <p>また、一般開放する時間帯を設定することで、利用しやすい機能の確保に努めます。</p> <p>新スタジアムにおいては、音響設備や夜間照明、施設の運用などの面で近隣住民や近隣校の皆様に配慮した対策を検討していきます。</p>
2	<p>王子プールを残してほしいです。ファミリー層にとって貴重な身近に利用できるプールです。老朽化による廃止とのことですが、取り壊すのではなく時間がかかっても修繕工事でまた使えるようにしてほしいです。</p> <p>プールは改修して残せ。夏の時期だけではあるが気楽に利用できるプール。老朽化しているなら、この際「温水プール」に更新して、1年中使用できるようにすべきだ。</p> <p>プールについて小さな子どもを安心して遊ばせることができる今のプールは大切です。利用頻度が少ない設備だとしても残す必要があると考えます。</p>	<p>プールについては、昭和35年より供用が開始されてから60年以上が経過しており老朽化が著しく進んでいること、夏季のみ（約2カ月）利用する施設ということから、年間を通して利用できるスポーツエリアとしての面積確保等の充実を目指し、廃止します。</p> <p>ただし、「(仮称) 緑の広場」において初夏から秋口にかけて、これまで以上に長い期間、子供たちが水遊びのできる場を整備したいと考えています。</p> <p>また、王子公園から約7キロ南西にある新ポートアイランドスポーツセンターでは、レーンの増加など屋内プールの機能を充実させ、受け入れ環境を強化する予定です。</p> <p>具体的には50m・25mプールの利用について、50mプールに子供が遊泳できる水深から競技用の水深まで調整が可能な可動床を導入するとともに、現在の8レーンから10レーンに増やします。年間を通して利用可能な25mプールについても、現在の5レーンから8レーンに増やし、遊泳なども含め、一般の皆様にご利用しやすくなる予定であることから、これらをご利用いただきたいと考えています。</p>

3	<p>テニスコートも改修して残せ。8面のうち6面をポートアイランドに移設するという。日常的に利用できるテニスコートは王子にあってこそ値打ちがある。</p>	<p>テニスコートについては、昭和31年より供用が開始されてから65年が経過しており老朽化が著しく進み、抜本的な見直しが必要な時期にあります。市内のテニスコートについては三宮以西の地域から長田区までには一定の広さの適地がなく、市営のテニスコートが整備されていないといった全市的な立地状況等を踏まえ、ポートアイランドに新たに6面整備することを提案するとともに、近隣校の部活動など王子公園近隣の方の利用に配慮し、王子公園内(スポーツゾーン)に2面を確保する提案をしています。これにより現行のテニスコート6面は廃止となりますが、新たに8面を整備する方針です。</p> <p>テニスコートの種類については、競技団体等の声もお聞きしながら、検討していきます。</p>
	<p>テニスコートも、部活動で使っている学校が多いですね。</p>	
	<p>「王子公園テニスコート」は、長年にわたり神戸市民に愛されてきた歴史ある施設であり、阪神間地域に唯一残されたハードコート6面の施設です。週末は、いつでも予約がいっぱいです。老若男女、誰でも手軽に気軽に楽しめる生涯スポーツの代表格がテニスです。長生き健康効果も他の競技に比べて断トツに高いことが研究から明らかになっています。</p>	
4	<p>サブグラウンドはラジオ体操やジョギングなど市民の貴重な憩いの場であるので残して欲しい。</p>	<p>補助競技場については廃止となりますが、近隣校の部活動等に配慮し、新スタジアムを一般開放する時間帯を設定するとともに、ラジオ体操やジョギングなどを行える機能についても公園内で確保します。</p>
	<p>現在のサブグラウンドは、陸上競技専用のグラウンドにして、大会がない場合には、住民にも開放、ラジオ体操・グラウンドゴルフはもとより、近隣の学生の陸上の練習場として活用できるように。</p>	
	<p>王子公園のサブグラウンドでサークル活動をしています。大学生の貴重な活動であり運動の場をなくすなど言語道断です。神戸の大学生がのびのび活動できる場所を残すべきです。神戸に住む人の憩いの場として王子公園をこのままの状態を残して欲しいです。</p>	
5	<p>ちびっこ・わんぱく広場は、現在のように動物園内で整備し機能を充実させてほしい。</p>	<p>ちびっこ広場とわんぱく広場については、スポーツゾーン内で一体的に整備することにより、同等以上を面積的にも確保し、さらに体力向上、健康増進のための新たな遊具の整備や多目的に利用できる広場にリニューアルするなど、王子公園内の子どもから大人まで楽しめるように機能の充実を図り、通年で市民の健康維持に寄与できるよう考えています。</p> <p>整備すべき具体的な機能については、基本計画策定の中で検討していきます。</p>
	<p>子供たちの遊び場は、絶対必要です。</p>	
6	<p>神戸登山研究所の移動と縮小に反対。神戸登山研究所は現地で存続予定であったが、修正素案で移動させられ縮小されることになる。全国に例のないピラミッドウォールなど、スポーツクライミングのための貴重な文化財である。神戸は近代クライミングの発祥の地として登山研究所を拠点として登山の健全な普及・発展に努力されていることを忘れてはならない。移動させずそのまま活用すべきだ。</p>	<p>登山研修所については、駐車場の位置や公園内の動線などを考慮しながら、より良い施設のあり方を考える中で、クライミング施設も含め、他のスポーツ施設との一体的利用が見込める位置に公園内にて再配置し、機能を充実させたいと考えています。</p> <p>整備すべき具体的な機能については基本計画策定の中で検討していきます。</p>
	<p>六甲山は近代登山発祥の地です。全国に2ヶ所しかない登山研修所は歴史があるので、建物を保存する必要があり、登山研修所の移転に反対です。</p>	
	<p>神戸登山研修所は、その形状を含めて非常に貴重な建物です。現状維持が最もよいのですが、もし移転となった場合は現在の施設と同等で、多くの書籍が保管できるようにしてほしい。又移転するのであれば現在あるピラミッドウォールを拡大し、国際的なコンペも可能な施設にしてほしい。(ボルダリングルームも拡張して頂いたら幸いです。(現在高校生のクライミング大会を毎年開催しており、この施設がなくなったら県内で大会を開くことが出来ません。ご配慮をよろしく願いいたします。)</p>	

7	<p>相撲場もそれぞれのイベントがある時に行ってみてください。ここは毎日のように使われていないが、利用者にとっては無くなってしまえば代替場所は遠方になり、競技者にとってはそのスポーツ自体の衰退に繋がると悲壮な訴えをしています。</p> <p>廃止予定の施設に相撲場が含まれていますが、特に相撲場のような他の場所にはあまりない施設を無くすことは地域の子どもたちが伝統的なスポーツに触れる機会を失うことに繋がると思います。</p> <p>施設の補修工事など、施設存続のための再整備は大賛成ですが、相撲場など、ここだからいい施設を廃止しようとするのはおかしいと思います。</p>	<p>相撲場については、廃止となりますが、王子公園外の既存施設を有効活用することで機能の確保に努めていきます。</p>
8	<p>大学誘致するならこういった多目的に利用可能な体育館がいいと思います。各スポーツの合宿等はもちろん市内の学校の宿泊教育にも利用できるような施設があれば市街地も近いので三宮周辺のさらなる活性化に繋がる。</p> <p>弓道場を残す。</p> <p>旧ハンター邸は神戸市の文化遺産、歴史資産として重要すぎる建築物である。</p>	<p>体育館・弓道場・旧ハンター住宅については、適時必要な方策を検討していきます。</p>
9	<p>生涯スポーツ（例えば囲碁ボール等）の機会提供等も条件に追加ご検討頂ければありがたいと思います。</p> <p>地域に子供が遊べる公園は多いので、王子公園には高齢者がもっと気軽に体力作りが出来るようなスポーツ遊具みたいなものの設置も希望。</p> <p>ランニングコースが2つあります。とても美しく素晴らしいコースです。ぜひ残すべきです。市民ランナーも学生も走ってました。</p>	<p>スポーツゾーンを含め、整備すべき具体的な機能については基本計画策定の中で検討していきます。</p>

(4) 駐車場 ① 40件 ② 8件 ③ 0件

意見 番号	意見	市の考え方
1	<p>私個人的には、近隣であるため使用することは少ないが、遠方から動物園に来る場合、子連れでベビーカーを使用し、公共交通機関で来るのはかなりの労力である。また子どもが複数人いれば、車での移動が必須である。子育てをしたことがある人であれば、容易に分かる。</p> <p>観光バスや、障害者向けの車寄せ(乗降場所)は必要、必要なものが案に盛り込まれないのは、案の信頼性がないです。観光シーズン、観光バスで訪れる利用者を把握していますか？バスは駐車場は遠くも乗降場所は入口付近に欲しいです。今より便利な場所にするなら。</p> <p>また、障害者向けの優先、専用駐車ゾーンも欲しいです。今王子になくて、他にはあって当たり前の仕組み。</p> <p>市が行う政策としては、本来は公共交通機関での来場を呼びかけるべきではないのか。家族や障害者が来場しやすいように、阪急、JRのバリアフリー化、道路の整備を推し進めるべきではないか。駐車場は逆に縮小して、障害者の方のみが予約制で利用できるようにすべきだ。</p> <p>自動車での来場者を希望する人については、別に広い駐車場を確保して対処する。例えば、ポートアイランドや六甲アイランドなどの埋め立て地のほか、港湾施設に駐車場を設置。そこからシャトルバスを多く運行すれば、エコ社会の実現につながると考える。バスは、ベビーカーなどが最大限利用できる、未来型の内装にすべきだと考える。</p>	<p>現在、動物園来園者には家族連れが多く、約半数の交通手段が自動車であることや団体利用の大型バス対応を考慮し、再整備後も駐車場は必要と考えています。主に平日に多い観光バスの駐車スペースや障がい者用の駐車スペースについても立体駐車場内での確保を検討いたします。</p> <p>阪急電鉄やJR、市バスなどの公共交通機関が充実しているという立地特性を生かしつつ、駐車需要と景観にも配慮した適正な規模の駐車場計画とするために、公共交通利用促進策をあわせて実施することは重要だと考えています。三宮駐車場・花隈駐車場を利用し王子動物園に来園された方の駐車料割引など、現在も実施している施策のほか公共交通機関利用に対するインセンティブなどさらなる公共交通への転換施策についても検討していきます。</p> <p>また、JR灘駅や阪急王子公園駅から王子公園各施設へのバリアフリー動線については基本計画策定の中で検討していきます。</p>
2	<p>駅近の立地の良い場所なのですが駐車場を立体にして拡張するのはなぜでしょうか？環境問題の観点より、車社会を見直そうという世界的な流れと逆行しております。台数が収まり切れない場合は、例えば園隣接のパーキングを利用すればよいと思います。駐車場を立体化することで環境が王子動物園、王子公園の雰囲気が壊されるのではないのでしょうか。</p> <p>見直し案では駐車場進入路が王子公園駅の北側まで、当初案から東に移動している。</p> <p>王子公園への道路は、現在の駐車場入口までは2車線で、それ以降は1車線となっているが、現在でも週末には駐車場待ちの車列によって1車線が塞がれている状況である。</p> <p>この道路は通過車両も多く、かつ歩行者も多い道路であるため、何の対策もなく車両入口を東側に移すと、通過する車両が待機車両を追い抜くため反対車線へはみ出さざるを得なくなり、正面衝突や歩行者への接触など、通行上の危険性が高くなる。</p> <p>道路を管理するのが動物園管理と同じ建設局であるならば、道路の再設計を行うなどの対策を含め、警備員の常駐(開園前の待機車列にも対応する必要がある)などの対応を強く要望する。</p> <p>駐車場はくれぐれも摩耶、長峰、六甲の眺望をエントランス芝生広場から確保できる高さに抑えること。また壁面緑化もお願いします。</p> <p>私の案は、スポーツゾーンと大学ゾーンをそっくり入れ替え、スポーツゾーン(競技場)の地下に駐車場をすることです。競技場地下の広大なスペースを駐車場に使える、サブトラックもそのまま使えます。近隣住民の反対意見の多いサブトラック廃止(縮小)の問題も解決しますし、もし万が一それでも駐車場が満杯になった時には補助的に駐車場として解放できます。</p>	<p>駐車場は、限られた土地を有効利用するため立体駐車場の計画としており、その規模は駐車需要や事業費、建物規模や景観への影響などを勘案して決定する必要があります。</p> <p>周辺道路については、現在、春秋の行楽シーズンの週末などでは駐車場に入れない車により混雑が発生している状況です。ピーク時の需要にあわせた規模の駐車場や地下駐車場を整備する場合には、整備費や維持管理費が大きくなることから、阪急電鉄やJR、市バスなどの公共交通機関が利用しやすいという立地特性を生かした公共交通利用促進や来園時間の分散など、周辺道路の混雑の要因とならないような駐車場マネジメント施策も併せて検討しながら、最適な規模の駐車場としたいと考えています。</p> <p>立体駐車場は、公園全体の景観が損なわれないよう壁面緑化や周辺の植樹、建物の高さやデザイン等に配慮し検討を進めていきます。</p> <p>なお、地下駐車場については整備費や維持管理費が高額となることから現実的ではないと考えています。</p>

3	<p>車の動線は環境を度外視しています、配慮されましたか。児童館に通う児童の安全確保できますか、危険にさらされていることを認識されていますか。地域の渋滞や排気ガス汚染を近隣住民に理解なく押しつけていませんか？公園の周遊路にはジョギングコースもありますが、それが、排ガス、渋滞道路になると考えるとゾッとします。渋滞が今より緩和ではなく、明らかにひどくなりませんか。ゾーニングの車の動線は反対です。</p> <p>地域住民にデメリットしかありません。</p>	<p>駐車場の位置については、「動物福祉に配慮してほしい」「公園の景観や六甲山の山並みに影響がでる」といったご意見をふまえ、当初素案でお示しした遊園地の位置から補助競技場（サブグラウンド）の位置に変更しています。駐車場位置変更に伴い進入路については、入口を公園の南東側に設置し、東側から駐車場にアプローチするルートに変更していますが、車路部分と歩道部分とは構造的に分離をし、併せて十分な歩道幅員を確保することで児童館へのアクセスや散策をされる歩行者の安全に配慮した計画としたいと考えています。</p>
	<p>児童生徒の安全な通学路の確保</p> <p>現状の、文学館から北に上がる歩道は登るにつれて大変狭くなり、朝の通学時には近隣の皆様と行きかうことが難しくなるために、再三ご迷惑をおかけしていました。そのため、2016年より、この通学路を登校時に利用するのは、小学生とJR灘駅を下車する中高生のみとし、王子公園を下車する中高生徒は、動物園とスタジアム間の歩行者専用道路から登校するように変更して、何とか混雑を回避しております。それでも、本校正門前の信号待ちの場所(公園の西北角)が大変狭いために、道路にはみ出ないまでも、信号横断の際の安全が十分に確保されているとは言い難い状況です。このことより再整備後も現動物園と現スタジアム間の歩行者用道路の安全が十分確保されるとともに、信号待ちスペースの拡大をお願いします。</p>	<p>また、現在動物園とスタジアム間の空間については、安全で歩きやすい歩行者動線を確保することとしており、プロムナード（遊歩道）や十分な広さの歩道を整備することを考えています。周辺道路の歩行者の安全性についても、歩行者だまりの空間の確保などを基本計画策定の中で検討していきます。</p>

(5) 緑の広場・プロムナード・桜・緑地・景観 ① 48件 ② 18件 ③ 0件

意見番号	意見	市の考え方
1	<p>緑の広場は不要です。JR 六甲道南側にも震災以降の公園がありますが、芝生の養生中なことが多く、芝生広場として維持するのは大変ではないでしょうか。また、キャッチボールをしたら道路に出てしまうような広さでは広場としては中途半端です。かえって危険です。素案の緑の広場の内容をすべて盛り込んだら、とても窮屈な、もったいない空間になると思います。</p> <p>基本目標のトップに「原田の森の創造」が掲げられていますが、「原田の森」について具体的な説明がありません。それは「緑の広場」のことですか。</p> <p>近隣ですと芝生がある広い広場が灘丸山公園しかなくアクセスが悪かったため、芝生広場には賛成します。</p> <p>街中に大学は必要なく、遠くへの移動が困難な、高齢者や小中学生、小さなお子さんをお持ちのお母さん等が安全に、散歩やジョギング等ができるセントラルパークのような公園を作ってほしいです。</p> <p>都市型公園は、市民にとって大切な財産です。 いこいの場、ふれあいの場、防災避難の場、スポーツを楽しむ場としてその有意性を損なってはなりません。公園をなだらかにし、六甲道南公園のような多くの人が憩えるような芝公園を広げたり、幼児も遊べる噴水、浅プールなどを作ってほしい。</p> <p>「シンボルプロムナード」と名付けると、格好はいいのですが全く頭に入ってきません。これは市民にとって理解するのが難しい言葉だと思います。わかりやすい日本語での表記をお願いいたします。</p>	<p>今回の再整備では、公園の玄関口として、「(仮称) 緑の広場」が必要であると考えています。イベントなどが開催でき適正な維持管理により多目的に活用できる芝生広場の他、子供たちが遊べる遊具や親水広場などを整備し、憩い、くつろげる空間として日常的なにぎわいの創出を図ります。「緑の広場」が、誘致する大学内のオープンスペースや緑の景観軸となる快適な遊歩道「(仮称) シンボルプロムナード」と一体となることで、開放感のある魅力的な空間としていきたいと考えています。</p> <p>一方、新たな「原田の森」とは、「緑の広場」のことだけでなく、これまで培ってきた「原田の森」のイメージを公園全体で継承しつつ、人と自然が共生する新たな景観や、地球温暖化防止などにも対応した新たな環境を創造し、将来に引き継いでいくことをイメージしており、「緑の広場」は新たな原田の森を創造するためにも重要な空間だと考えています。</p> <p>各施設の具体的な整備内容や維持管理方法については、バリアフリー動線の確保や防犯対策を考慮した施設配置、設置する遊具の種類、芝生の維持管理方法など、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。</p>
2	<p>夜桜の通り抜けも大切にしたいです。</p> <p>「桜の木を切ることに反対します」桜を楽しみにしている市民が多いです。</p> <p>六甲摩耶の緑と山並みに調和する景観には十分配慮をお願いします。 100年経てば建物は建て替わりますが、道路や公園、植栽などインフラ基盤は残ります。財政的な制限は理解しますが、将来世代に誇りを持って引き継ぎ、歴史ある阪神間モダニズム文化に相応しい高質な基盤整備を切に望みます。</p> <p>再整備するなら、できるかぎり、木々を自然を残して欲しい。現在の三宮駅周辺の様な緑のない街は、ほっとできる空間がなく、全然魅力を感じない。 東京や大阪みたいに、経済最優先で大きな箱物を造るのは時代遅れだと思う。いまある施設を最大限に利用して心、中味を大切にしたい。木々や自然や小鳥達が遊びに来るような場所を残すことが、子供達が自然や生き物を大切にしたい心と育めると思う。</p> <p>新たな「原田の森」の創造について 都市森林としての機能を発揮するくらい、植樹してもらいたい。構内からアスファルトを取っ払い、全て芝生、草原、そして原田の森として整備して頂きたい。森の小径が大学構内と原田の森を駆け巡り、青谷川のホタルが飛び交うビオトープ等もお願いします。</p>	<p>再整備にあたっては、古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表とする美しい景観を大切に守りながら、王子動物園をはじめとする公園内の施設を適切に維持・更新し、将来の世代へ確実に継承します。特に桜は王子公園を象徴する樹木であり、桜をはじめとする樹木の保全・再生に努めていきたいと考えています。</p> <p>基本計画策定の中で、SDGs の理念やグリーンインフラの考え方を取り入れるとともに、既存樹木の保全はもとより、施設配置・整備によって支障となる樹木が出てくる場合には、移植可能な樹木は移植し、やむを得ず伐採する場合には新たな樹木を植えるなど、自然環境に配慮した緑量を確保する植栽計画を検討します。</p> <p>あわせて、建物の高さやデザイン、壁面緑化などにより、公園全体として六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出できるよう景観計画を検討します。</p>

3	<p>公園もいまのままで市民の気持ちを近隣に住む市民の意見を大切にしたいです。公園やグラウンド周辺こそがウォーキングの場（坂道が多いためBESTのコンディションで歩ける）高齢化に向け、医療費削減の為に市民の体力維持の場を奪わないで下さい。お願いいたします。</p>	<p>現在の王子公園は、一般に開放された空間が点在しているうえに、利用期間が限られている施設もあり、憩い、くつろげる空間が多くありません。</p> <p>今回の再整備により「(仮称) 緑の広場」をはじめとする、誰もが気軽に訪れ日常的に使うことのできる、居心地の良い、ゆとりある空間を拡張し、安全・安心に配慮した、より開放的な公園としたいと考えています。</p> <p>例えば、「緑の広場」では、子どもたちが遊べる遊具や水遊びのできる親水空間の整備を、ちびっこ広場・わんぱく広場のあったスポーツゾーンにおいても、新たな遊具の整備や多目的に利用できる広場にリニューアルするなど、子どもの遊び場の機能を確保していきたいと考えています。そのほかの施設についても、利用状況や全市的な配置状況などを踏まえ、園内外で再整備、代替・機能確保を図るとともに、機能の集約化や運用の工夫により、市民のみなさまの利用ニーズに応えられるよう、出来る限り従前施設の機能を確保します。</p> <p>各施設の具体的な整備内容については、いただいたご意見や「大規模公園ビジョン」での視点や基本方針も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。あわせて、地域や誘致する大学など様々な主体との連携や民間活力の導入なども踏まえた管理運営手法を検討していきます。</p>
	<p>概ね賛成です。</p> <p>細かいことですが、周回路に、公衆トイレを3箇所くらい設置するようにしてほしいです。</p>	
	<p>公園施設の改善・拡充等を求めます。</p>	
	<p>神戸市は、令和3年3月に策定した王子公園も対象に含む「大規模公園ビジョン」に基づいて大規模公園の再整備を行うとしています。この「再整備基本方針」はこのビジョンに基づいた検討がされておらず、手続き上の問題があります。</p> <p>公園の評価指標を示し特性評価を実施するとしています。これを行いましたか。</p> <p>公園の再整備にあたって重視すべき視点を示し、4つの基本方針を決めています。これに基づいた検討をどのように行いましたか。</p>	
	<p>地域力が向上するプラットフォームづくり (国交省や全国の自治体が視察に訪れるようなパイロットモデルを作る)</p> <p>今後、公園は様々な地域課題を解決するプラットフォームとして期待されています。多様な人々が関わりあう「まちづくりの中核」として機能させるため、公園運営を Park-PFI の導入によって商業的な活力を活用、NPO 法人による指定管理などぜひ導入する事を考え具体的に動いて頂きたいです。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や市民と連携してのイベントやセミナーの企画 ・知識防災力の強化 ・ボランティア活動の立ち上げや活動支援 ・学校の総合学習の受け入れ ・大学の研究者による社会実験 ・企業の社会貢献活動 ・福祉施設との連携 ・ステークホルダーとの協議会の運営など <p>幅広く産官学民の様々な主体との連携を創出できる場とする。「緑の広場」に昔の公民館のような様々な活動が行える交流施設を設置し、様々な形で地域連携が高まるプラットフォームのづくりを有識者の方々と考え実行して頂きたいと思います。</p>	

意見等を反映させた箇所

3. 再整備の基本目標とゾーニング 【P40～41】

(1) 5つの基本目標

- ・② 学術・文化拠点のシンボルの創出に大学誘致にあたっての5つの視点を追加

変更前	変更後
	誘致にあたっては、「大学運営（教育・研究内容等）」「地域貢献」「地域経済」「都市計画・景観等」「安定性・継続性（財務・会計）」の5つの視点を重視します。

- ・④公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上に「安全・安心に配慮した」を追加

変更前	変更後
公園のエントランスに「（仮称）緑の広場」を整備するなど、憩い・くつろげる空間を拡張し、より開放的な公園とします。	公園のエントランスに「（仮称）緑の広場」を整備するなど、憩い・くつろげる空間を拡張し、 <u>安全・安心に配慮した</u> 、より開放的な公園とします。

(2) ゾーニング

- ・ゾーン名称「緑の広場」と「シンボルプロムナード」を統合
- ・ゾーニングの考え方にシンボルプロムナードの説明を追加

変更前	変更後
【ゾーン名称】 緑の広場、シンボルプロムナード	【ゾーン名称】 緑の広場
【シンボルプロムナードの説明】 緑の景観軸として、緑の広場から王子公園内の各ゾーンを結ぶシンボルプロムナードを整備	【シンボルプロムナードの説明】 緑の景観軸として、緑の広場から王子公園内の各ゾーンを結ぶ <u>快適な遊歩道「（仮称）シンボルプロムナード」</u> を整備
【ゾーニング】 	【ゾーニング】 

4. 再整備による各施設の方向性 【P42】

- ・再整備による各施設の方向性に「桜をはじめとする」を追加

変更前	変更後
整備にあたっては、樹木の保全や新たな植樹、建物の高さやデザイン、壁面緑化等により、公園全体として六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出できるよう配慮します。	整備にあたっては、 <u>桜をはじめとする</u> 樹木の保全や新たな植樹、建物の高さやデザイン、壁面緑化等により、公園全体として六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出できるよう配慮します。

王子公園 再整備基本方針 (案)

令和4年11月

神戸市

目 次

1. 背景	37
(1) 王子公園の位置と歴史	
(2) 王子公園周辺の現況	
(3) 王子公園の施設概要及び課題	
2. 再整備の意義	39
(1) 再整備の位置付け	
(2) 王子公園再整備の意義・効果	
3. 再整備の基本目標とゾーニング	40
(1) 5つの基本目標	
(2) ゾーニング	
4. 再整備による各施設の方向性	42
5. 再整備の進め方	43
6. 参考	44
(1) 王子公園の概要	
(2) 施設の管理・運営	
(3) 施設の利用状況	
(4) 駐車場の整備台数	

1. 背景

(1) 王子公園の位置と歴史

王子公園は、本市の都心である三宮・元町の東約3 kmに位置しており、駅に近く利便性の高い貴重な空間です。この一帯はかつて「原田の森」と呼ばれ、明治中頃まで田畑が広がっていました。

1889年（明治22年）に創立された関西学院を皮切りに、神戸高等商業学校（現：神戸大学）や松蔭女子学院、神戸海星女子学院が開校されました。また、1919年（大正8年）に市電上筒井線の終点「筒井駅」が開業し、翌年には阪神急行電鉄「上筒井駅」が開業されました。

1950年（昭和25年）には王子公園（19.2ha）が供用され、戦災復興と産業の発展のため神戸博が開催されました。翌年の1951年には、その跡地に諏訪山動物園を継承するかたちで、現在の王子動物園が開園し、1956年の第11回国民体育大会の開催にあわせてスポーツ施設が次々と整備されました。このように、王子公園一帯は、近代から高度成長期の神戸の発展に先導的な役割を果たしてきた地域です。

また、王子公園は1995年（平成7年）の阪神・淡路大震災において、災害対応機能として自衛隊や消防応援を受け入れ、物資拠点機能、住民避難機能などを備えた広域防災拠点としても大きな役割を果たしました。

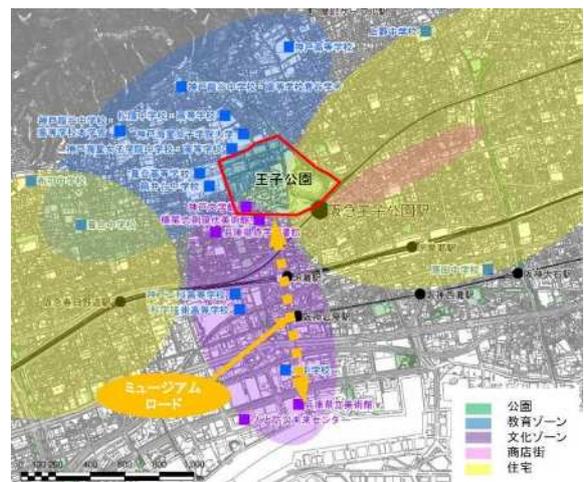
(2) 王子公園周辺の現況

阪急王子公園駅周辺は六甲山系の美しい山並みを背景とした阪神間を代表する景観が広がり、良好な住環境が形成されています。

また、文化施設や教育施設、スポーツ施設が集積する学術・文化のまちとして発展を遂げてきました。南北を貫く「ミュージアムロード」には、多くの芸術作品が設置されているほか、阪神・淡路大震災からの「文化の復興」シンボルとして、2002年に建設された兵庫県立美術館や2012年に王子公園前に開館した横尾忠則現代美術館などもあり、多くの方々が市内外から訪れる文教エリアとして魅力的な地域となっています。



【1915年（大正4年）頃の原田の森】



【土地利用状況図】

(3) 王子公園の施設概要及び課題

① 施設概要

① 体育館
面積：約 1.0 ha
設置：1978 年

⑥ テニスコート
面積：約 1.1 ha
設置：1956 年

⑪ プール
面積：約 1.0 ha
設置：1960 年

⑭ 駐車場

⑫ 王子動物園
面積：約 8.1 ha
設置：1951 年

⑮ 王子スタジアム
面積：約 2.6 ha
設置：1956 年

その他施設	②	③	④	⑤	⑦
	ちびっこ広場	弓道場	わんぱく広場	北獣舎(動物園)	旧ハンター住宅
	⑧	⑨	⑩	⑬	⑯
	補助競技場	相撲場	神戸登山研修所	神戸文学館	原田児童館

② 課題

- 施設が老朽化しており、時代の変化への対応も求められています。
 - ・供用後 70 年が経過した施設もあるなど、全体的に老朽化が顕著です。
 - ・老朽化とともに現在のバリアフリー基準に適合していない施設があります。
 - ・動物園では、開園当初からの獣舎が一部残るなど施設が老朽化していることに加え、展示方法や近年高まっている動物福祉の向上の観点からも改善が求められています。

- 利便性が高い文教エリアのポテンシャルを十分に活かせていません。
 - ・総合公園でありながら利用者が限定される施設が多く、一般に開放された空間が点在しているうえに、利用期間が限られている施設もあり、憩い、くつろげる空間が多くありません。
 - ・駅に近い南東部や南北通路が駐車場として使われています。
 - ・交通至便な文教エリアとして、持続可能な神戸の発展に資する新たな価値の創出が求められます。

2. 再整備の意義

(1) 再整備の位置付け

『神戸 2025 ビジョン (令和 3 年 4 月)』において、市民一人ひとりが安心安全で心豊かに幸せを実感できる生活を享受でき、将来を担う若者が輝き、活躍できる持続可能な社会を築く「海と山が育むグローバル貢献都市」をめざしています。

また、令和 4 年 6 月 7 日に閣議決定された「骨太の方針 2022」では、「創造性を発揮して付加価値を生み出していく原動力は人である」として、「人への投資」の拡大に向けて「未来を支える人材を育む大学等の機能強化」を図るとされています。

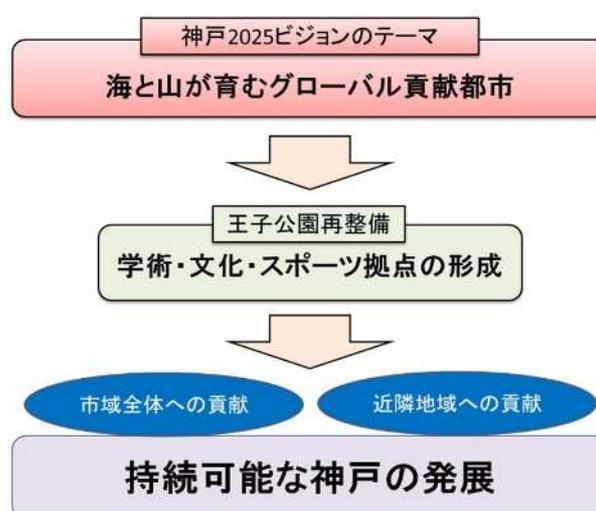
(2) 王子公園再整備の意義・効果

王子公園は阪神間を代表するエリアにあり、若年定住・交流人口の増加や都市ブランドの向上を図り、持続可能な神戸の発展を実現するためには、その高いポテンシャルを活かすことが不可欠であり、王子公園再整備は極めて重要な役割を果たします。

再整備により、文教都市・神戸としての地位を高め、王子公園エリアの新たな価値を創出するためには、大学誘致は最も有力な施策であり、これは、神戸の将来を牽引する優秀な人材の確保・育成・輩出の点からも重要です。一方、少子化が進む中でも学生が確保しやすい大都市中心部への立地志向が高まっており、大学の「都心回帰」が進んでいます。大学や学生のニーズを取り込み、質の高い競争力のある大学を誘致することにより、イノベーション機能の強化、産学連携による地元企業の成長、スタートアップ強化による雇用創出など、神戸市民の所得を向上させ、新たな雇用の場を創出するとともに、地域コミュニティにおける担い手不足の解消など学生による社会貢献、学びなおし（リカレント教育）の機会の提供などが期待できます。

また、王子公園など神戸市内の大規模公園のあり方を定めた『大規模公園ビジョン(令和 3 年 3 月)』では、「みんなに愛されるゆとり空間の創出と充実」や「持続可能な公園運営を実現するための改革と連携」などの基本方針を定めており、持続可能で魅力的な公園にリノベーションすることも重要です。さらに、市民の健康増進、スポーツ振興の観点から、市域全体としてスポーツ施設の魅力を高めていきます。

再整備にあたっては、古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表する美しい景観を大切に守りながら、王子動物園をはじめとする公園内の施設を適切に維持・更新し、将来の世代へ確実に継承します。あわせて、新たな交流機会の創出など地域の賑わいづくり、地域商業などの活性化・経済効果などにより、周辺住民の生活の質の向上を図り、王子公園再整備が「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」の両立を果たしつつ、「グローバル貢献都市の実現」を牽引していきます。



3. 再整備の基本目標とゾーニング

(1) 5つの基本目標

① 新たな「原田の森」の創造

- ・1204年に王子神社が建立されて以来、育まれた歴史や文化を踏まえ、王子公園再整備にあわせて新たな「原田の森」の創造を目指します。

② 学術・文化拠点のシンボルの創出

- ・神戸にふさわしい、そして王子公園の地にふさわしい国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致します。
- ・誘致にあたっては、「大学運営（教育・研究内容等）」「地域貢献」「地域経済」「都市計画・景観等」「安定性・継続性（財務・会計）」の5つの視点を重視します。
- ・周辺文化施設・教育施設と誘致する大学との連携により、学術・文化拠点としての機能強化を図ります。

③ 王子動物園の魅力向上

- ・交通至便な駅前の立地特性を生かし、これまで通り市民が身近に楽しめる魅力ある動物園として現在の場所でリニューアルします。
- ・動物福祉にも十分配慮した新たな展示方法等を導入するなど、老朽化した獣舎を再編・再整備するとともに、動物園にふさわしいレクリエーション機能も備えた動物園とします。
- ・動物園に求められる役割である「種の保存」「調査研究」「教育」の公益的な役割が大きいため、今後も公の施設として神戸市が責任をもって運営します。

④ 公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上

- ・緑豊かで桜の名所として親しまれている自然環境や景観の保全、市民の憩いやスポーツ・子どもたちの学びや成長の場としての利用など、子どもから高齢者まで誰もが気軽に訪れ日常的に使うことのできる、居心地の良い、ゆとりある空間づくりを目指します。
- ・公園のエントランスに「（仮称）緑の広場」を整備するなど、憩い・くつろげる空間を拡張し、安全・安心に配慮した、より開放的な公園とします。
- ・アメリカンフットボール、サッカーやグラウンドゴルフ、ラクロス、運動会や地域のイベントなど、引き続き幅広い競技・用途で利用いただけるスタジアムを整備するなど、本格的な競技から体力づくりまで幅広い運動ニーズに対応できる施設づくりをめざします。

⑤ 広域防災拠点の機能強化

- ・避難場所や災害活動の拠点として各施設を充実させることで、広域防災拠点の機能強化を図ります。

(2) ゾーニング

誰もが憩い、くつろげる一般に開放された空間を拡大すること、ゾーン間の物理的つながりと視覚的な拡がり確保することを重視し、公園全体の一体感の醸成と回遊性の向上を図ります。また、多目的な広場をバランスよく配置し、誰もが使いやすい、より開放的な公園として再整備することを目指します。



ゾーン名称	ゾーニングの考え方
動物園ゾーン	・位置を大きく変更することなく現在と同程度の敷地面積を確保
大学ゾーン	・キャンパス内の「オープンスペース」と「緑の広場」が一体となることで、開放感のある魅力的な空間を創出できることから、緑の広場に隣接して配置
スポーツゾーン	・既存の体育館や弓道場が立地する王子公園北側に施設を集約することで、空間的にも機能的にも使いやすいエリアを創出
緑の広場	・王子公園駅に隣接する利便性の高い場所にある現在の平面駐車場の配置を見直し、開放的な空間として駅前に整備 ・緑の景観軸として、緑の広場から王子公園内の各ゾーンを結ぶ快適な遊歩道「(仮称)シンボルプロムナード」を整備
駐車場	・補助競技場の位置に立体化して集約するとともに、公園東側の現在の遊歩道部に駐車場への進入路と魅力的な歩行者空間を確保



【一般に開放された空間のイメージ】

4. 再整備による各施設の方向性

各施設の利用状況や全市的な配置状況などを踏まえ、園内外で再整備、代替・機能確保を図るとともに、機能の集約化や運用の工夫により、市民のみなさまの利用ニーズに応えられるよう、出来る限り従前施設の機能を確保します。

整備にあたっては、桜をはじめとする樹木の保全や新たな植樹、建物の高さやデザイン、壁面緑化等により、公園全体として六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出できるよう配慮します。

また、防災機能について、新たに整備するスタジアムや緑の広場、既存の体育館など各施設の機能分担・連携を図り、へり離発着機能、災害時の物資の集積・備蓄機能、応急給水拠点、緊急車両用の通路など、従前の機能の維持・向上を図ります。

施設	方針	内容
動物園(獣舎等)	再整備	<ul style="list-style-type: none"> 動物園と遊園地をあわせて現在と同程度の敷地面積を確保 新たな展示方法等の導入など魅力の向上 動物福祉に配慮した施設の更新 市が公の施設として責任を持って運営
動物園(遊園地)		
駐車場	再整備	<ul style="list-style-type: none"> 動物や景観に配慮し、補助競技場跡地に立体駐車場を整備 壁面緑化や植樹などにより、周辺環境や六甲山系の山並みに配慮 建物の高さやデザインなどを工夫することにより、圧迫感を軽減 屋上の一部をスポーツゾーンとして活用
大学	新設	<ul style="list-style-type: none"> 国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致 グローバル人材の育成という観点から、競争力の高い大学を誘致 学生の社会貢献、学びなおし(リカレント教育)等の機会を創出 緑の広場と一体となったキャンパスにより、開放的な空間と魅力的な景観を形成
スタジアム (フィールド) (トラック)	再整備	<ul style="list-style-type: none"> アメリカンフットボール、サッカーやグラウンドゴルフ、ラクロス、運動会や地域のイベントなど、引き続き幅広い競技・用途で利用いただけるスタジアムを整備 練習用400mトラック(4レーン)を整備 フィールド・トラックともに一般開放の時間帯を設定 騒音や照明について近隣住民に配慮した設備や運用を検討
補助競技場	機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 公園内で、ラジオ体操やジョギングなどを行える機能を確保 緑の広場やスポーツゾーン内に多目的に利用できる広場を整備 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定
プール (50m・25m)	廃止 (園外施設の充実)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の公営プールの立地状況を踏まえ、新ポートアイランドスポーツセンター50mプールの可動床の導入及び50m・25mプールのレーン増設により一般利用を促進
プール(幼児用)	機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 緑の広場に水遊びができる親水施設を新設
テニスコート	代替	<ul style="list-style-type: none"> 市内の立地状況等を踏まえ、ポートアイランドに新たに6面新設
	再整備	<ul style="list-style-type: none"> 近隣利用を踏まえ、王子公園内(スポーツゾーン)に2面整備
緑の広場	新設	<ul style="list-style-type: none"> 現在の駐車場の位置に「緑の広場」を整備 「シンボルプロムナード(遊歩道)」と一体となり、各ゾーンの結節点となる新たな緑地軸・景観軸を形成 ラジオ体操や地域活動、大学との交流に活用できる多目的な芝生広場、遊具、親水空間、にぎわい施設などを設置
ちびっこ広場	再整備	<ul style="list-style-type: none"> スポーツゾーン内で一体的に整備し機能を充実(体力向上にもつながる新たな遊具、多目的に利用できる広場等)
わんぱく広場		
相撲場	廃止 (市内施設の活用)	<ul style="list-style-type: none"> 王子公園外の既存施設を有効活用
登山研修所 (クライミング施設含む)	再整備	<ul style="list-style-type: none"> 他のスポーツ施設との一体的利用が見込めるスポーツゾーン内へ再配置
体育館 弓道場 旧ハンター住宅 神戸文学館 原田児童館	存続	<ul style="list-style-type: none"> 適時必要な方策を検討

再整備 : 王子公園内に従前の施設をリニューアルするもの

代替 : 王子公園外に従前と同等の施設を確保するもの

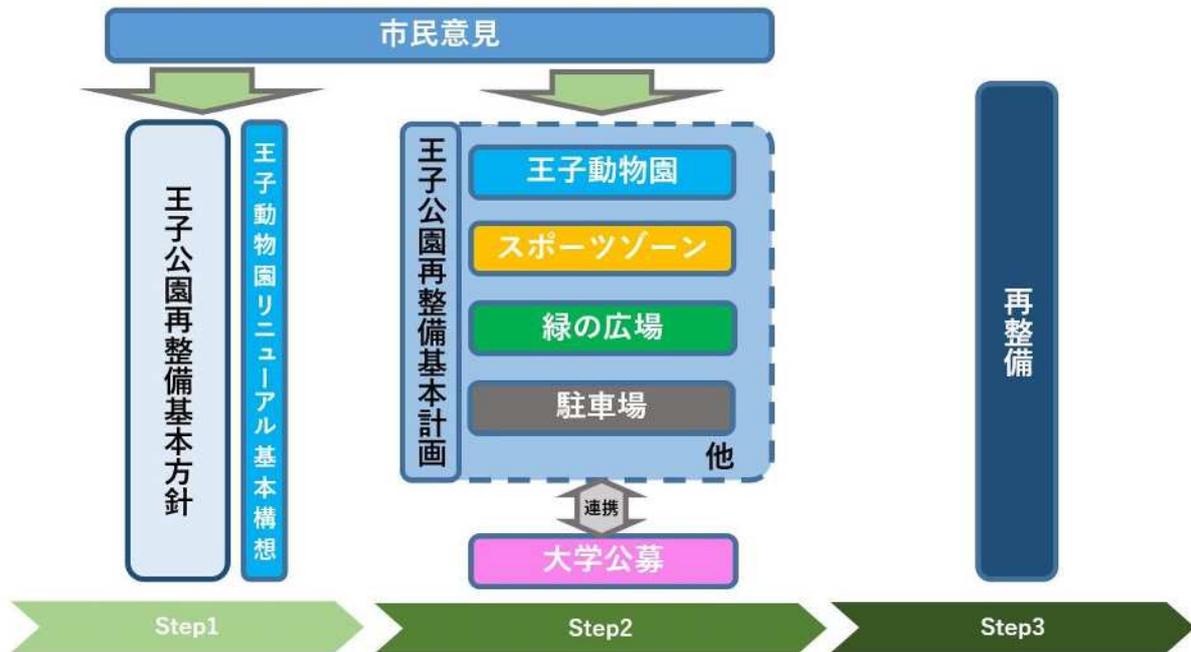
機能確保 : 王子公園内に概ね従前の機能を確保するもの

5. 再整備の進め方

「王子公園再整備基本方針」は、再整備の基本目標やゾーニングなどを示すものです。

基本方針に基づき、各施設の具体的な整備内容やデザイン、事業全体のスケジュール等を定める基本計画を策定する予定です。

基本計画策定にあたっては、これまで市民のみならずからいただいたご意見を含め、改めてご意見を伺いながら、動物園やスポーツゾーン、緑の広場など、施設ごとに検討を深めていきます。



【進め方のイメージ】

6. 参考

(1) 王子公園の概要

名称（公園名）	王子公園
種別	都市公園 総合公園
所在地	神戸市灘区王子町2、3丁目、青谷町1丁目
面積	191,500 m ² （供用区域）
設置年月日	昭和25年1月20日
防災施設	兵庫県指定「ヘリコプター臨時離着陸適地」、 地域備蓄拠点、防災行政無線、災害時給水拠点ほか

(2) 施設の管理・運営

園内施設の管理・運営状況としては、市が直接運営している施設や指定管理者制度を導入している施設のほか、市から管理許可・設置許可・管理委託を受け、個別の団体が管理している施設があります。

管理・運営 形態	直営	指定管理	設置許可 管理許可	管理委託
施設名	動物園（遊園地除く） 王子公園 駐車場 児童館周辺園地	体育館 スタジアム プール テニスコート 相撲場 補助競技場 わんぱく広場 ちびっこ広場 神戸文学館 <国登録有形文化財> 原田児童館	遊園地 弓道場 （近的・遠的） 王子スポーツセン ター駐車場 （北側・南側） 神戸登山研修所 （クライミング施設含む）	旧ハンター住宅 <国指定重要文化財>

(3) 施設の利用状況

(年間利用者数：人)

利用者数	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
王子動物園	1,107,212	1,087,562	1,044,659	645,893	738,512
スポーツセンター (体育館・柔剣道場)	175,653	183,226	163,333	99,485	112,130
スタジアム	87,393	76,186	78,270	49,698	62,458
補助競技場 (※1)	—	—	—	—	—
プール	38,462	34,647	29,738	5,609	8,317
テニスコート	32,768	32,037	27,006	22,579	27,090
相撲場	590	400	514	72	369
弓道場	27,229	28,574	26,703	15,850	21,958
登山研修所 (※2)	2,955	3,304	3,079	1,530	2,171
旧ハンター住宅	37,319	66,782	52,442	26,715	27,753
神戸文学館	20,680	21,922	21,272	15,276	14,949

(※1) 一般開放されているため全利用者数は把握していない。

(※2) クライミング施設の利用者数(会議室利用者を除く)

(4) 駐車場の整備台数

園内には駐車場が3か所あります。また動物園の繁忙期には、補助競技場を臨時の駐車場として運用しています。

駐車場名	駐車台数	料金
王子公園 駐車場 (※3)	【常時】普通車 390 台・バス 5 台 (普通車スペースに大型バス 駐車可) 【臨時】普通車 250 台(補助競技場)	0～2 時間までの 30 分につき 150 円 2～4 時間までの 30 分につき 100 円 4 時間を超える 30 分につき 50 円
王子スポー ツセンター	【北側】57 台 【南側】65 台	30 分毎 100 円 【最大】 21 時 30 分まで 1,100 円 翌 8 時 30 分まで 1,500 円 21 時 30 分～翌 8 時 30 分まで 1,100 円

(※3) 王子公園 駐車場の利用状況について (H30 年度実績)

臨時駐車場使用 (390 台超) : 年間 68 日

満車 (640 台超) : 年間 49 日